日刊ゲンダイ

急逝 芦名星さん ラストグラビアの現場 9ページ

AB統合版 150円
9月16日(水)

閣僚ポスト 空約

3ページ

JMPA

国民に露呈した空っぽ そんな男が圧勝の醜悪

国民も唖然だった茶番劇 総裁選の真相と今後

加えて、辟易するような人事情報が流れている

こんな演説、記者会見は「初めて」と言われるほどの中身なし

「万来の拍手を安倍総理にお願いします」

勝利が決まった直後の挨拶で、菅義偉新総裁（71）はまず最初に、安倍首相を称えた。そして、「一致団結して、日本の国を前に進めようではありませんか」と呼び掛けたフレーズも安倍そっくりだった。

きのう（14日）投票が行われた自民党総裁選は、安倍政権の「継承」を掲げた菅が、岸田政調会長（63）と石破元幹事長（63）を破って、予想された通り圧勝した。あす召集の臨時国会で第99代首相に指名される。

5派閥の総乗りで、告示前から勝者が確定的になるなど、異例の展開だったが、中でも前代未聞は、一国のトップに就く菅が政治家として中身が空っぽなことを露呈したことだ。

出馬表明会見では「戦後外交の総決算」「金正恩委員長と条件をつけずに会って活路を切り開きたい」など安倍の決まり文句をオウム返し。告示日の演説は下を向いて原稿棒読み。国家観を語れず、苦し紛れに出してきたのは「自助、共助、公助」。国民に自己責任を求め、国民を守るという政治の役割を放棄する驚愕だったのである。

これまでは、官房長官の立場でスポークスマンに徹していたから、自身の考えを封印してきたのかと思いきや、言葉や理念の貧しさは総裁選期間中、ほぼ変わらず。安倍継承に終始し、冗舌になるのは「秋田の農家の長男」という地方出身の経歴と「ふるさと納税」などの実績アピールだけ。石破が「納得と共感」、岸田が「分断から協調へ」を掲げ、目指す国家像を披露したのとは対照的だった。

2ページへつづく

この政権は間違いなく短命で終わるだろう

	議員票	地方票	合計
菅　義偉	288	89	377
岸田文雄	79	10	89
石破　茂	26	42	68

石破潰し 議員票操作

2ページ

2020年9月15日発行 〈日・祝〉休刊 〈日刊〉第13186号 1990年8月6日第三種郵便物認可

©日刊現代2020

〒104-8007 中央区新川1-3-17 ☎03-5244-9620

日刊ゲンダイ 検索

4910852111501 00136

1ページからつづく

そんな菅総裁に雪崩を打った自民党の狂気と腐臭

「菅氏が総裁に選ばれた後、『国民のために働く内閣をつくる』と言ったのには唖然としました。これまで国民のために働かない内閣を目指した首相などいませんよ。そんな当たり前のことしか言えないのでしょうか。『携帯電話料金の値下げ』や『デジタル庁』などの具体的な個別政策にしても、総務大臣が取り組むようなもの。総理大臣ならばもっと総合的なビジョンを語らなければ務まりません。とても総理の器ではないと思いました」（法大名誉教授・五十嵐仁氏＝政治学）

ドイツのメルケル首相やニュージーランドのアーダーン首相など新型コロナ禍で評価を上げたのは、国民への丁寧な説明や安心させるメッセージといった自分の言葉を持ったリーダーだった。この国をどうするのか、どうやって国民を幸せにするのか、という重要なメッセージを出せない人物が首相になるなんて、悲劇としか言いようがない。

領袖が顔を揃える異様

過去の総裁選と比較しても群を抜いて醜悪だったのが、二階幹事長が主導した「菅支持」への雪崩現象だ。

安倍が辞意表明した当日から、国会議員票で勝負を決められるよう「党員投票ナシ」の流れをつくり、翌日には菅・二階の極秘会談で「菅擁立」を決定。電光石火の動きに慌てた麻生派と安倍の出身派閥の細田派が談合に乗っかり、竹下派と石原派も同調。5派閥で国会議員総勢260人を超える菅支援体制が出来上がるという茶番だった。

総裁選は事実上、首相を決める選挙だ。それなのに、候補者の政策や国家像を一切聞かずに担ぎ上げる。国民を代表する国会議員としてあり得ない姿勢なのだが、二階や麻生を筆頭に、5派閥の狙いは従来の権力構造の中でポストを分け合い、権限を握りたいだけ。中身が空っぽだろうが、どうでもいいのだ。

菅は、石破や岸田と同席したテレビ討論会で、「自衛隊が憲法で否定されている」「政府として憲法改正に挑戦」など事実誤認の失言を繰り返した。国の統治のしくみを理解していない首相ではまずいと、マトモな国会議員なら菅から離れておかしくないのに、5派閥は主導権争いにしか関心がない。

二階派が先行するのを牽制するため、麻生派、細田派、竹下派の3派閥の領袖が顔を揃えて記者会見したのも異様な光景だった。それは総裁選が終わってもエスカレートするばかりで、役員人事や閣僚人事を巡って、派閥の暗闘が続いている。

安倍政権のままの権力構造の維持に汲々とする狂気。国民のことなどまったく見えていない。

「既得権益を守るために派閥が菅氏を担いだのに、その菅氏が『既得権益の打破』を謳うのは悪い冗談です。長期にわたった安倍一強の弊害で、自民党全体が内向きになり、寄らば大樹で甘い汁を吸う体質へとむしばまれてしまいました」（五十嵐仁氏＝前出）

腐臭の漂う自民党にはもはや何も期待できない。

結局、安倍疑惑潰し、そのための石破潰し、国会議員票まで操作のえげつなさ

安倍政権の疑惑を「再調査すべき」と発言

「モリカケ」「桜」など、今なおくすぶる安倍政権の重大疑惑について、「再調査すべき」と総裁選で主張してきた石破が、岸田にも敗れて3位に沈んだ。今度の総裁選に菅が出馬したのは、パンドラの箱を開けかねない石破を潰すことが目的。永田町では、「石破を最下位に蹴落とすために菅陣営が岸田陣営に票を回した」との見方がもっぱらだ。

完膚なきまでの石破潰しを画策したのは、安倍の出身派閥の細田派か麻生派か――。岸田89票、石破68票という結果に、今ごろ万々歳に違いない。

最後まで横一線だった「2位争い」だが、それでも党員人気の高い石破が優位だとみられていた。石破陣営の議員票は派閥の19人と無派閥などの支持票合わせて25票前後。これに地方票40～50票と予想されていた。一方、岸田支持の議員票は、岸田派の47人と谷垣グループなどからを含め50票程度。地方票は「2ケタに届かない恐れもある」（永田町関係者）と悲観的な見方もあった。

それがフタを開ければ、岸田陣営が議員票で予想を20票以上上回る79票を獲得。菅陣営の議員は310人近くいたのに、菅の議員票は288票にとどまった。これが何を意味するのか。

きのうの民放番組で、政治ジャーナリストの田崎史郎氏は、「（岸田氏は）二十数票上積みされてますね。89票獲得しましたが、24票、『施し票』があったということ」と発言。菅陣営から岸田に〝施された〟票の存在をにおわせた。議員票を「操作」してまで石破を潰したのだとしたら、あまりにもえげつない。

「安倍首相の『執念』です。

二階幹事長続投ならばあまりに露骨な新政権の正体

事前の予想通り、自民党幹事長は、二階が続投することになった。真っ先に菅を担ぎ、早々と総裁選勝利の流れをつくった男が、まんまと幹事長ポストを手にした格好である。

もともと、菅と二階は昵懇の仲だ。2人とも地方議員出身の叩きあげ。黒子に徹して権力を振るう政治手法も同じだ。

この数年、菅官房長官―二階幹事長―森山国対委員長のトライアングルで〝裏仕事〟をこなしてきたのが実態である。森山も、地方議員出身の叩きあげ。菅政権でも、3人で日本の政治を牛耳るつもりなのは間違いない。

1億5000万円も闇に

立正大名誉教授の金子勝氏（憲法）が言う。

「この8年間で〝安倍1強〟体制が築かれ、自民党内には自由にモノが言えない空気が広がりましたが、菅―二階コンビが権力を握ったことで、自民党内はもっと息苦しくなる恐れがあります。安倍首相も麻生財務相も、ボンボン3世のためか、なにを考えているのか、分かりやすかった。ある意味、底が浅かった。でも、菅総裁も、二階幹事長も、森山国対委員長も、腹に一物あるタイプで、なにを考えているのか国民にはサッパリ分からない。ほとんど昭和の政治家です。親分が黒と言ったら、白いモノでも黒。菅政権では、ボス支配が強まると思う。すでに今度の総裁選では、派閥領袖ばかり目立った。二階幹事長の続投は、新政権の正体を露骨に表しています」

菅は「既得権益の打破」を掲げているが、どう考えても、この政権では「改革」などやれそうにない。自分たちの利権を拡大させるだけではないか。

二階の続投が決まったことで、自民党本部から河井克行・案里夫妻に流れた1億5000万円の真相も闇に葬られる可能性が高い。

「公選法違反の罪で起訴された河井夫妻が、地元・広島県の政界関係者に配った2900万円の原資とみられているのが、自民党本部から入金された1億5000万円です。一人の候補者に1億5000万円ものカネを流すのは異常。隠された闇があってもおかしくない。幹事長だった二階さんが無関係なはずがない。河井夫妻は、菅新総裁とも近かった。二階さんの幹事長続投は、1億5000万円問題に蓋をするためだ、と疑われても仕方ありません」（金子勝氏＝前出）

安倍政権よりも闇が深い。

安倍首相を美化し、「臭いもの」に蓋に加担の大マスコミ

新総裁を選出した自民党の両院議員総会。一度ならず、二度も任期途中で政権を投げ出した安倍を、英雄のように持ち上げる演出に違和感を覚えた国民も多いのではないか。

新総裁選出後にマイクの前に立った安倍は「この人なら間違いない。令和時代に最もふさわしい自民党新総裁ではないでしょうか」と菅にエールを送る一方、「8年近く、本当にありがとうございました」「私もみなさんとともに、一議員として全力で支えていく」とニヤつきながらスピーチ。菅から安倍への一感謝の花束贈呈」なるセレモニーまで執り行われた。まるで勇退する大宰相のようなちゃんと持って帰ったんだろうか……（JMPA）

歴史的な無責任男がこうも大きな顔をしていられるのは、同じ穴のムジナが集う自民党の腐敗体質は言うまでもなく、大マスコミにも責任がある。唐突な辞意表明で、ポスト安倍政局になだれ込んで以降、大手メディアは総裁選レースの展開ばかりを報道。国家を私物化し、数々の疑惑にまみれた安倍がなぜ唐突に辞めるのか。史上最長のアベ政治を総括せず、「臭いものに蓋」に加担したからだ。

法大名誉教授の須藤春夫氏（メディア論）はこう言う。

「コロナ対応は失策続きで、アベノミクスはスタスタ。内閣支持率の下落傾向に歯止めがかからず、安倍首相は追い詰められて投げ出したようなものです。にもかかわらず、テレビを中心とするマスコミは一連の退陣劇を批判的な視点で報じようとせず、アベ路線を継承したい自民党の策略に乗ってしまった。安倍政権のアメとムチに飼いならされ、権力監視の本分を忘れた垂れ流し報道が染みつき、コントロールされている自覚すらないのではないでしょうか。そうしたメディア圧力の中核を担ってきたのが、官房長官として政権を支えてきた菅氏です。大手メディアはどうかしています」

新総裁として臨んだ初会見で菅は、さすがにメディアに愛想を振りまいていたが、化けの皮は間もなく剥がれる。

〈3ページへつづく〉

取り計らいだ。しかも、7年8カ月のアベ政治振り返り映像まで流された。

澤三郎氏）

密室談合極まれり、である。

報ているが

労相（竹下派）、梶山経産相（無派閥）らの名前が挙がる。「菅さんと同じ」と改革派アピールに余念がない小泉環境相（自称改革派）も留任が濃厚。

は初めてで、任だから誰の電話がかのではないが党内で囁どです。たで山口泰明起用されたじく菅陣営た二階派の入閣は間違れている。

きのうの会見で菅は二階と麻生財務相について「内閣の要、そして党の要。極めて政権運営で重要な2人」とか言っていたから、麻生が閣内に残ることも既定路線だ。橋本五輪相（細田派）、公明党の赤羽国交相の再任も決まった。

「安倍政権の継承を訴え公安委員長で選ばれたですから、閣僚は留任がそれでしょう。予定調和抜き内細田派）、閣ということです。これ長（麻生派）派閥でがんじがらめ中と聞きまだと、安倍首相や派閥領組の中では神に気を使いながらの安哲志衆院議転にならざるを得なえられます。菅カラーを出すのな中堅議員）解散・総選挙が必要では菅を支でしょう」（政治ジャーシャの会」ナリスト・山田厚俊氏）議員、女性

菅は「せっかく総裁に

9/6 日刊ゲンダイ 2020

こんな政権を誰が支持するのか、早晩、国民も気づくだろう

＜2ページからつづく＞

「地味だけど存在感がある」「安定した政治が期待できそう」「スイーツ好きで好感がもてる」

大手メディアが、およそ8年ぶりの新首相の誕生を好意的に報じていることもあって、街角ではこんな声が聞かれたが、ご祝儀相場はそう長くは続かないだろう。

5派閥総乗りで総裁選を勝ち抜き、政権発足前から「アベ居抜き内閣のシャッポ」と揶揄される菅は早期の解散・総選挙に打って出て、「勝ち星1」を引っ提げて本格政権に生まれ変わる――。永田町にはこんな見方があるが、はたして解散などできるのかどうか。

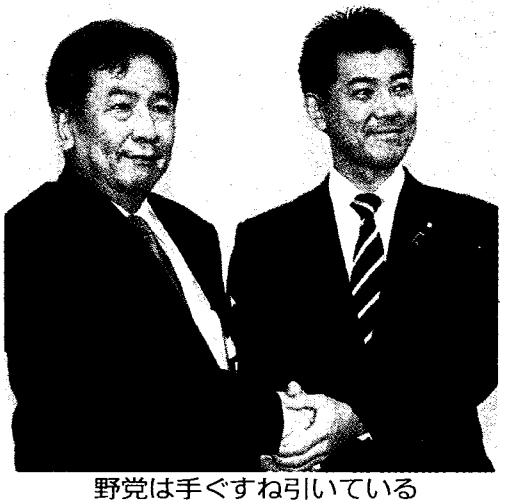
解散どころか、国会がはじまった途端、野党の追及に立ち往生するのは目に見えている。

「菅氏の致命的な欠点は、対話ができないことです。国会答弁は安倍首相より苦手かもしれません。官房長官会見では都合の悪い質問を＜全く問題ない＞＜批判は当たらない＞とはねつけ、＜いずれにしても＞ではぐらかす一方通行で済まされた。でも、国会はそうはいきません。総裁選を見る限り、野党の質問に対して当意即妙に答弁できるとは、とても思えない。一国のトップとして説明能力に疑問符がつきます」（本澤二郎氏＝前出）

実際、これほどスピーチが苦手な首相は、過去いなかったのではないか。総裁選の時も、ひとりだけ、ひたすらメモを読んでいた。

なにより決定的なのは、スガ新首相には、国家観も、歴史観も、政治哲学もまったくないことだ。政治家として「これだけはやりたい」というモノがひとつもない。たとえ、口下手でも中身があれば国民に伝わるものだが、総裁選を通じて分かったことは、政治家としてスッカスカだということだ。さすがに多くの国民も「この男はダメだ」とすぐに気づくに違いない。

しかも、いくら作り笑いを浮かべても、冷血冷酷さは隠せない。国民の支持があっという間に離れてもおかしくない。衆院の任期満了まで残り1年。支持率が低迷し、この新政権は解散を打つこともできず、短命で終わる可能性が高い。



野党は手ぐすね引いている

を頭に巻き付けた美女たち。スペイで行われたデザイナー、アガタ・ルプラダの最新コレクションのひとコ

新型コロナウイルスに感染し、約3スペインだが、先週末、ソーシャルキープするなどさまざまな感染防止でファッションウイークが開催され（写真はロイター）

ニーズ拡大で人員34%増

太っ腹！アマゾン 北米で10万人雇用

米インターネット通販大手アマゾン・ドット・コムは14日、米国とカナダでフルタイムとパートタイムの従業員計10万人を新たに雇用すると発表した。新型コロナウイルスの感染拡大に伴う巣ごもり需要により、通販の利用が急増していることの一時金として最大1000ドル（約10万6000円）が支給される。アマゾンは今月、物流拠点など100カ所を開設する見通しで、これらの拠点で多くの人手が必要になっている。

ロイター通信によると、アマゾンの米国での人員募集は今年に入り4度目。臨時雇用などを除く同社の世界の従業員数は6月末時点で、前年同期から4%増の77万68